The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	新年のごあいさつ
Author(s)	三橋, 昭男; 辻野, 守典; 福住, 弘雄 他
Citation	makoto. 1988, 61, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85995
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

新年のごあいさつ

大阪府環境保健部長
三　橋　昭　男

あけましておめでとうございます。

皆様には、つつがなく昭和63年の新春を迎えられたことと、心からお喜び申し上げます。

旧年中は本府の環境保健行政に格別のご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

本府におきましては、本格的な長寿社会を迎え、活力ある豊かな社会を築くため、医療技術の高度化・科学技術の著しい進歩に対応して府民の健康づくりに関する諸施策を積極的に展開してまいりました。

しかし、ライフステージに応じた健康づくりがかならずしも十分に行われていないところから、乳幼児期・児童期・成人期・老人期といった人生のそれぞれの段階に即した保健・医療・福祉を総合化した施策をさらに推進する必要が生じてきました。

このため、昭和62年11月１日付けで、従来の民生部・衛生部・生活環境部の３部を統廃合し、福祉部・環境保健部に再編成するとともに、両部の連携をすすめるため２つの部をつなぐ保健福祉医療監、保健福祉政策室を設置し、一貫した保健衛生・福祉の総合的な施策の推進に努めることとなりました。また、公害行政と廃棄物行政を所管する環境局を新たに設置し、環境に関する政策・管理の強化を図ることとしました。

このように21世紀へ向けて、府民の皆様により健やかにより豊かに過ごして頂けるよう諸施策を実施してまいりますが、防疫活動・環境衛生の分野で実績豊富な貴協会をはじめ、関係諸団体の活力を一層投入して頂くよう期待するところであります。

最後になりましたが、貴協会の今後のますますのご発展、ご活躍を心よりお祈り致しまして新年のあいさつとします。

謹賀新年

財団法人大阪防疫協会
理事長　辻　野　守　典

新年あけましておめでとうございます。旧年中は何かと御指導賜わり、厚く御礼申しあげます。本年もよろしく御指導を御願い申しあげます。

さて、個人的なことで恐縮ですが昨年注腸検査を受けましたが、結果は異常なし。少々平均よりＳ状結腸が長いとか、自分のＤＮＡはどうなっているのかと考えたりしていました。１つの卵細胞（にわとりの卵も１つの細胞）が分裂して人間という細胞生物を作り上げていく、不思議でもあり、又神秘的でもあります。

その生命誕生の源は「海底の熱水噴出口が生命誕生に何らかの役割を果たしているのではないか」という仮説（高温高圧の熱水を摸した環境下でメタンや二酸化炭素から生命に不可欠なアミノ酸が出来ることを実験で確認したと）が三菱生命科学研究所と東工大の研究グループによってたてられているとか、思えば30億年以前の神秘のなぞも、解明される日がそこ迄来ているのでしょうか。

30億年を経た人間の思考と行動力はすばらしい「エネルギー」を持っています。今日半導体は大きなインパクトを与え新しく登場しようとしている超電導、核融合は、どれほどの社会的インパクトを与えることになるのでしょうか。

また、植物分野のバイオテクノロジーでは、細胞融合の実験などが進められているようですが、昭和65年４月１日大阪の鶴見緑地で開催される「花の万博ＥＸＰＯ'90」には、どんなすばらしい花々がバイオテクノロジーの成果として出品されるのでしょうか。

ところでどんなに科学が進んでも、昨年ＮＨＫテレビで放映された「馬毛島」の「トビバッタ」大発生が生物的環境抵抗の一要因である糸状菌によって制御されたことは、人間の思考と行動力をこえた自然の偉大さを痛感します。「馬毛島」のトビバッタの例は害虫防除への１つの示唆でもありましょう。

新年のごあいさつ

大阪市環境保健局長
福　住　弘　雄

新年あけましておめでとうございます。

昭和63年の新春を迎え、皆様方の御多幸と御繁栄を心からお祈りいたします。

平素は、本市の環境保健行政に格別な御尽力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

さて、大阪市では来年市制百周年を迎えますが、その長い歴史を通じ自由と進取の気風により常に新しい時代を創造してきた伝統と基盤があります。

この伝統と基盤のうえに、より魅力的で、より快適な生活ができるまちづくりを目指して各種事業の推進に積極的に取組んでいるところであります。

昨年は「天王寺博」を、又関西の国際交流の核となるであろう「大阪国際交流センター」の完成をみましたが、二年後には21世紀計画のメインイベント「国際花と緑の博覧会」が開催されます。

今後、21世紀に向けて、大阪を世界に開かれた国際的で、文化的な都市へと発展させるため、快適な住みよいまちづくり、保健医療体制の充実、きめの細かい福祉の充実を推進しておりますが、なかでも環境の整備は極めて重要なものであると考えております。

市民に直結したこのようなアメニティーの追求こそ、今日最も望まれており、その環境政策の一端を担う環境保健行政は重要かつ基本をなすものだと考えております。

そのためには、専門的知識と技術をもって着実な実績をおさめられている貴協会の御協力を得ることにより、はじめて公衆衛生の向上と生活環境の確保が達成されると考えており皆様方の御力添えを期待しているところであります。

おわりに、貴協会の益々のご発展と会員皆様方の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

堺市衛生部長
大　保　雅　嘉

あけましておめでとうございます。

皆様には、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。旧年中は本市衛生行政に格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市は昭和64年の市制100周年、関西新空港開港などを節目として、21世紀を展望した「調和と風格のある町づくり」を推し進めるべく、総合的な都市基盤の整備、安全で快適な居住環境づくり、又心の豊かさとふれあいのある文化と福祉の都市建設にと、とりくんでいるところです。

21世紀に向けても多くの課題があり、中でも保健衛生行政に対するニーズは、急激に進む高齢化社会での中・高年齢期の健康保持、壮年期からの健康づくり、疾病の予防等々、ますます増加しつつあります。

特に生涯を通ずる健康づくりの推進は、自分の健康は自分で守るという自覚と認識を原点に、人生80年時代に対応してきめ細かい行政をおし進めていかねばなりません。

新しい年、昭和63年にはすでに建設着工いたしております保健所と福祉事務所、地域図書館との複合施設(仮)鳳保健文化センターが完成いたします。

これをステップに鳳地区のみならず、全市で地域に密着した保健指導、健康相談や検診などの保健サービス部門、或いは地域住民が身近で適切な医療を受けられる様な保健医療サービス部門にと一層の充実を図って参りたいと考えております。そのためにも貴協会のご協力、ご指導を従来以上にお願いする次第であります。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と貴協会の益々のご発展をお祈りして、新年の挨拶といたします。

新年のごあいさつ

東大阪市保健衛生部長
上　田　與四三

新年あけましておめでとうございます。

昭和63年のすがすがしい新春を迎え、皆様方の御多幸と御繁栄を、心からお祈りいたします。

また旧年中は、本市保健衛生行政に、格段の御支援、御協力を賜わり、厚くお礼を申しあげます。

さて、本市は市民の皆様の大きな力に支えられ、昨年、東大阪市制施行20周年を迎えることができました。さらに昭和58年に保健所設置市となってから、５年が経過いたしましたが、東大阪市制定後、一貫して「明るく、住みよい、活力ある街」づくりを基本方針として、保健、福祉の充実に取り組んでまいりました。

大きな節目の年でありました、昨年を振り返ってみますと、とりわけ今まで経験のなかった保健所事業につきましては、大阪府の御指導のもとに、一応の基礎固めを終え、市民、関係団体、保健所が一体となって、「健康展」や、貴協会の事業とも関連の深い、ねずみ衛生害虫駆除の分野での、「暮らしの中の虫、むし展」を開催するなど、積極的な啓発事業にも着手したところであります。

従いまして、この５年間の積み重ねを元に、本年はさらに、新らたな飛躍の年と考えている次第であります。

また、近年は高齢化、情報化社会への移行など、著しい社会情勢の変遷に加え、国、地方を問わず、厳しい財政事情の時でありますが、来るべき21世紀に備えて、地域保健医療体制の整備や保健所機能の充実を図るなど、市民のライフサイクルに応じた、保健衛生事業を推進してまいる所存でございます。

どうか貴協会をはじめとして、関係諸団体の一層のお力添えをお願い申しあげます。

最後になりましたが、貴協会の御発展と会員の皆様方のますますの御健勝と御活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

阪急電鉄株式会社
ビル経営部次長
小　寺　章　允

明けましておめでとうございます。

新年を迎え、皆様方のご多幸を心からお祈り申しあげます。

さて、本年は辰の年、龍は想像上のめでたい動物です。中国では二千年もの昔から東、南、西、北の方位を青龍、朱雀、白虎、玄武といい、これに四季をあてはめて青春、朱夏、白秋、玄冬という言葉が出来ました。四季を青、赤、白、黒と色で表現するのはそれぞれの季節の特徴がよく出ており、なるほどと感じられるではありませんか。

我が国は四季の変化がはっきりわかる国で詩歌にもよくうたわれ楽しまれてきました。四季折々の花、虫の音、鳥の声或いはときどきの旬の食べ物から身に着ける物にいたるまで、自然の移り変りに合わせて生活を営んできました。しかし、科学の進歩、産業の発展により、例えば多くの花が殆んど年中手に入るようになり、或いはその季節にしか食べられない物は極めて少なくなりました。又、住宅地の都市化が進み、鳥や蝶の飛ぶ姿を日常見ることが珍しくなる一方ビデオ等により、どの季節の風景でも簡単に目にすることができるようになりました。

戦後四十数年、物に満たされたこの社会においては量は既に足りて質的にも向上しており、今求められているのは、仕事の上でも生活の場でも豊かな感性を発揮することです。忘れかけた自然の細やかな息吹きを感じ得る心をみんなが持つように努めれば、もっと潤いのある世間になるのではないでしょうか。

21世紀に向けてお互いの感性を磨いて、物の豊かなこの社会が、人々の心豊かな、文化の香り高い社会になるよう工夫することが今に生きる私達の責務ではないかと、お屠蘇の盃を傾けながら考えている次第です。

貴協会の益々のご発展を祈念いたしましてご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

南海電気鉄道株式会社
運輸部、運輸第一課長
石　田　昭　夫

新年あけましておめでとうございます。いつも南海電車をご愛乗いただき心からお礼申し上げます。

また大阪防疫協会の皆様には、日頃清潔な駅、車内の美化にご配慮いただき厚くお礼申し上げます。

元旦には安全確保を最大の使命とする鉄道事業本部の管理職全員が住吉大社へ参詣して厳粛に安全輸送の完遂を誓願してまいりました。初詣での清清しさはまた格別であります。

この行事は昭和43年以来、毎月初日に詣でることが仕来りになっている次第で本年も安全に、正確に、そして快適な輸送を提供して行く所存でございます。

さて泉州沖に建設しております関西国際空港も着工から早や1年、連絡橋の橋脚の一部が据付られ、開港に向けて順調に進捗している模様であります。

一方沿線地域におきましては、コスモポリスの実現を目指し、具体的な開発構想が打ち出され空港アクセスを担う当社を取り巻く環境も除々に変貌しようとしております。

このような国際化への潮流とますます多様化、高度化するお客様のニーズに対応するために運輸部では先づ接遇面の充実が急務であることを課題に、昨年〝接遇元年〟を年間目標に定め外部講師を招いた研究会等、固定観念を捨てお客様のニーズにマッチした、スマートな接遇技能の習熟に取り組んでいるところであります。

また既に実践しております〝目についたゴミを拾う〟クリーン作戦はスッカリ定着いたしまして、お客様から賛辞を頂戴しているところでありますが、朝夕の時間帯に設定しております禁煙タイムのご協力が美化に力を添えて頂いておるものと感謝している次第でございます。

今年も環境の美化は勿論、フロントサービスの品質管理を十分施し、お客様のニーズにお応えするよう努力してまいりたいと考えております。

貴協会におかれましては、一層のご協力をお願いし、益々のご繁栄を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

関西テレビ放送株式会社
施設管理部長
奥　野　清　治

明けましておめでとうございます。

本年もmakotoを通じ皆様方に新年のご挨拶を申し上げる機会をいただき誠にありがとうございます。

昨年は、独り言のような希望で、交通渋滞による「いらいら」を解消するため、道路等社会資本の充実に積極的な投資を希望致しましたが、残念ながら、東京にはじまり関西にも波及してきた地価の高騰、財テク人気、債券や株の高騰から一転して暴落、世界恐慌論と、社会資本の充実どころか実感のない金持ち日本の姿だけで、不安感のつのる一年でした。

こんな中にあって、話題となった超伝導技術や某メーカーで拝見したハイテク技術等、たゆまず努力する姿が小生にとって大きな救いとなりました。

しかし、このまま東京集中傾向をつづけ、大阪でも同じような事をしていると、先進国があゆんだと同じ道をあゆみ、日本全体が不幸になるような気がしてなりません。

もうこの辺で、関西独自の行動をとるべき時にきているのではないでしょうか、ご存知のように、関西新空港や関西学研都市の建設がはじまった今がチャンスではないでしょうか、この時期こそ、関東に同調することなく地価の高騰を防ぎ、投機的な財テクに走らず、地道な研究開発や製造のハイテク化を進め、培ってきた関西文化及び観光との調和を図り、今年こそ、自力で、関東に対抗する情熱を燃やしたいものです。

情熱といえば、関西の情熱の象徴であるべきはずのプロ野球在阪球団、特に、阪神、近鉄の昨年の成績はどうしたのか、今年は必ず、日本シリーズは大阪でと誓ってほしいものです。

幸い、当社、関西テレビ放送も今年で満30周年を迎えます。この記念すべき年にこそ何かのお役にたてればと願っております。

最後に、貴協会の益々のご発展をお祈りして、新年のご挨拶といたします。